



百花繚乱 冬の奥おおえ

「奥おおえ柳川温泉雪まつり」が、2月8日に開かれました。少雪のため、予定されていた大かまぐらの代わりに「竹灯籠」が作られるなど、例年とは装いを異にした雪まつりとなりましたが、冬の花火大会は予定通り開催。雪の舞う夜空に70発の花火が次々と咲き乱れ、来場者の目を楽しませていました。



特集

新町長に聞く

令和2年

3

No. 709



任期初目の3月6日朝、大きな拍手に迎えられながら初登庁した松田清隆町長

新町長に聞く ～松田清隆町長インタビュー～

夢を共有できるまちづくり

渡邊前町長の任期満了に伴う町長選挙が2月11日に告示され、前副町長の松田清隆氏が無投票で初当選し、第6代大江町長に就任することが決定。3月6日に初登庁し、この日より松田町政がスタートしました。松田新町長のまちづくりにかける思いと、今後4年間、そして将来にわたる町政のビジョンについて、町長自身の言葉で語っていただきました。

——松田町長は町職員として課長職を歴任された後、副町長を務められました。これまでを振り返って、特に印象に残っていることはありますか。

40年以上にわたって町のさまざまな仕事を担当しましたので、いろいろな思いがあります。定住人口増加のための美郷地区住宅団地の取り組みでは、構想づく

りから分譲までの一連の事業に関わることができました。今、団地に多くの住宅が建っている姿を見ると、住宅団地の整備はこれからは必要な事業だと強く感じます。

また、国際理解教育の環境で担当したモンタナ大学

との交流事業では、我が家にも留学生を受け入れ、10年以上過ぎた今でも交流を続けています。これからの子どもたちにもぜひ外国への興味を持ってもらい、外国の方とも気軽に交流できるように頑張ってほしいと感じました。

——国際理解教育といえば、本町では平成26年度から中学生海外派遣事業を3年間実施し、今年度は「東京グローバルゲートウェイ」での中学生の宿泊英語研修をおこないました。コミュニケーション能力の養成という意味でも画期的な事業だと思います。

外国の方も、私たちがペラペラと英語を話せる前提

では私たちと話さないはずなんですね。お互い手さぐりの会話の中で少しでも接点を持つことができれば、そこからコミュニケーションを始めることができる、そういう感覚を持つことが大事だと思います。外国の文化に触れて新しい価値観に気付くことは、子どもたちにとって大きな財産になるはずですよ。

——ちなみに、趣味や特技はお持ちですか。

高校時代は、吹奏楽部でテナーサクスを吹いていました。ギターも弾いていて、高校時代に3人でバンドを組んでフォークソングなどを演奏したこともありです。スキーも若いころか



▲平成19年度に実施された本町とモンタナ大学との交流事業で来町し、松田町長（当時教育文化課勤務）宅にホームステイしていたエリンさん（写真中央）。昨年9月の「大江の秋まつり」に観覧に来ていたエリンさんを、松田町長（当時副町長）が来場者の皆さんに紹介しました

ここにしかない魅力を 創り出していききたい

らやっついていて、今は私自身がスキーをする機会は少なくなっています。子どもたちには雪に親しむ遊びの一つとしてスキーを楽しんでほしいと思っています。

また、趣味の範囲ですが家庭菜園も楽しんでます。畑の草むしりを無心になって黙々とやるのが、リフレッシュになっていきますね。

——このたび初めて町長選に立候補されて、どのように感じられましたか。

選挙というのはもちろん自分自身に関わることなの

ですが、それ以上に自分以外の多くの人々に関係することなのだというのを、改めて実感しました。支えてくださった皆さんのためにも、これからはがんばっていかなくてはならないと思っています。

——無投票での初当選という結果については、どのようにお考えでしょうか。

さまざまな方からの要請を受けて立候補しましたので、その気持ちに答えなければならぬという思いを持っていきます。無投票とい

う結果については、これまでの行政経験を生かして町政をリードしてほしいという町民の皆さんの期待の表れだと受け止め、がんばっていききたいと思います。

——他の市町村にはない本町の魅力といえば、どのようなものがあるとお考えでしょうか。

本町の魅力というと、「豊かな自然」や「温泉」などがすぐに思い浮かびます。私もこの町で生まれ育った一町民として、この2つは大きな魅力だと思いますし、さらなる利活用が必要だと感じています。ただ、同様の特色を持った町は全国に数えきれないほどあります。その中で、ここにしかない魅力を創り出していかねければなりません。

他の町にないものということであれば、重要な文化的景観、左沢楯山城跡などがあります。最近、刀剣や戦国武将などに興味を持つ若者が増えていると聞きますし、「歴女」といった言葉

60年後の町を見すえ 若者や女性の声に応える

も流行しました。本町の歴史的・文化的な遺産は、若い世代の目にも魅力的なものとして映るのではないのでしょうか。全国に向けてこれらをPRしていくためには、SNSやPR動画などの活用は必須だと思います。

——他市町村では「Vチューバー」など独自のキャラクターを活用してPRをおこなっている例もあるよう

です。何か、良いキャラクターを作ってください(笑)。
——本町らしいキャラクターとなると、やはりヤマガタダイカイギュウになるのでしょうか。でも、ヤマガタダイカイギュウをモチーフにしたキャラクターとい

えば、すでに「憑身シエイガー」がいますね。

「シエイガー」は小さい子どもたちに大変人気がありますね。町内のイベントだけでなく、町外でもさまざまな活動をされているようです。いつの時代も、変身ヒーローは子どもたちにとっての憧れなのかもしれませんね。

——これからのまちづくりに取り組んでいく上で、特に重視されていることは何でしょうか。

人口減少をいかに抑えて、若い世代の人々に町内に住んでもらうかを考える必要があります。これまで町が手掛けてきた町営住宅建築などのほかに、民間事業者

(写真) ①昨年11月10日の物産味覚まつりにて、相撲をとる日本一くんとシエイガー。今後はキャラクターを最大限活用したPRも重要
②昨年10月11日に開かれた全国文化的景観地区連絡協議会大江大会の現地視察にて、清野家を見学する参加者。重要文化的景観の街並は、歴史ファンのみならず若い世代や女性の方々の関心を引くことが期待される
③1月11日、子育て支援センター「ぱれっと」で開かれただんご木飾り交流会の様。町の宝である子どもたちを、より産み育てやすい環境づくりを目指す





【プロフィール】

松田清隆（まつだきよたか）

昭和33年左沢生まれ。61歳。

昭和52年大江町役場へ奉職。教育文化課長、産業振興課長、総務課長を務め、平成30年4月に副町長に就任。令和2年1月まで務める。

と連携した住宅施策も視野に入れても良いのではないかと考えています。

本町は交通の便が良く、町内や周辺に工業団地もあり、住居を構えるための条件は非常に良いと思っています。若者が働くための選択肢を増やすために、町内に働く場所を増やしていくことも必要ですね。

その他、高齢者の生きがいと健康づくり、医療体制の問題、農林業や商工業の後継者の問題などさまざまありますが、すべては人口減少をいかに抑えていくかということを中心に考えなければいけません。

——町長が今後取り組もうとしている重点項目の中に「若い世代や女性の声をまちづくりを生かす」というものがありますが、現時点でお考えになっているビジョンはありますか。

次の60年後の町というものを考えた場合、今の20代、30代の皆さんがこの町をどう思っているかを知ること

は、とても大切なことだと思います。昨年度は「町長とわいわいクロストーク」と題してさまざまな地域や団体の皆さんと座談会をおこない、非常に有意義な提言を多数頂きました。今後は、若い世代の皆さんの考え方を聞きできるような会を設けられればと考えています。

また、女性の意見ももっと取り入れていかなうてはいけません。

——町の職員に対しては、これからどのようなことを求めていきますか。

若手の職員も、みんなそれぞれアイデアを持っているのではないかと思います。もっともっと声を出してほしいですね。

たくさんの方々と交流を持つことも大切です。例えば、「地域の魅力見つけ隊」として町職員が地域のお手伝いをする取り組みがあります。お祭りのお手伝いなど、さまざまな活動をする中で多くのものが得

られると思いますので、それをこれからの武器にしていてもらいたいです。

——最後に、町長から町民の皆さんへのメッセージをお願いします。

私はこの町に生まれ育ち、さらに町職員として働いてきました。その経験を生かして、町民の皆さんがそれぞれの幸せを感じられる町にしていききたいと思っています。

今年第10次大江町総合計画策定の年になっており、これは今後10年間の町の方向性を示す大切な計画ですので、しっかりとやっています。まちづくりは住民の皆さんが進めるものであり、いろいろな世代や立場の方々が知恵を出し合い、行動することが大事です。町民の皆さんの声を大切にして、この町の未来のためにみんなが「夢を共有できるまちづくり」を目指して一緒に取り組んでいきたいと考えています。

町を支えてくださる

全ての皆さんへ

前大江町長 渡邊 兵吾

令和2年3月5日、「大江町長の職責の任期」終了の期日となりました。1期、2期、3期と12年間、務めさせていただきました。逡巡・後悔・展望・健康・年齢・時代などなど、膨大な雑念が念頭を走り回り、孤独孤立の念にも襲われはしましたが、次期町長選挙には、被選挙人として手を挙げない「自己決定」をさせていただきました。在任中に町民の皆様方から頂きましたご支援・ご指導・ご協働に心からの感謝と、日常の暮らしの中の激励のお言葉とに、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

区・消防・交通・教育、その他の委員会などのメンバーとして、仕事をもちになり忙しい時間を切り盛りしながら、気持ち良くその役目をご承引いただきました方々が多くおられました。いつも広い視野で、温かい思いを込めたご提案を受けました。メンバーの方々に寄せられた高い評価を誇らしくうれしく思います。ありがとうございます。

商業・工業・農業、生産・流通・消費に関わる事業など、正しく大江町の現場を支えておられる方々には、行政と一体となった思いのもと、時には厳しいお願いがあったかと思いますが、ご協力を頂きました。激甚災害のような状況下でのご支援には頭の下がる思いで、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

幼児・小学生・中学生・高校生・大学生……、みんなから本当に元気をもらいました。いつも明るいあいさつを、多くの正直な言葉を、素敵



▲任期最終日となった3月5日、職員に見送られながら庁舎を後にした渡邊前町長



▲町長としての功績に対し、山形県町村会会長の原田真樹庄内町長より感謝状が贈られました

な笑顔を。運動会や文化祭など多くの行事での大活躍は、減気を元気に変えてくれました。大江町の明日を創る若い力に、安心と明るい未来を確信いたしました。ありがとうございます。

町の職員には、時に無理をお願いしました。思いを強力に申し上げたこともありました。得手不得手を承知しないでごり押しがあったようにも思えます。にもかかわらず、いつでもどこでも期待に込めていただき、充実した時間は、職員各位の後方支援の賜物であります。本当にありがとうございます。

思えば、先人は時間を食み、今日の民主主義の形を一步步つ確実に進ませ育ててきたように思えますが、民主主義の完成形は道半ばだ、とも評されています。来た道に、行く道にも私たちが立って歩いていこうとしています。安心安定平和で基本的な人権が尊重される世界、大江町もその一隅にゆったりと毅然、凛として未来永劫在り続ける確信を感じながら、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

時計の針には 成れずとも
せめて成りたや 時計の裏ネジ

新型コロナウイルス感染症による影響とその対策について

12月の中国湖北省での感染確認に端を発する新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、日本国内でも感染者が増加し続けています。

本県においては3月6日現在感染者は確認されていないものの、県は感染拡大防止のため新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、医療体制の整備や感染症対策に関する広報・相談などの対応策を講じることとしました。

こうした中、本町では2月27日に新型コロナウイルス感染症対策連絡会議、3月2日には町長を本部長とする対策本部を設置。町民の感染症予防の措置をはじめ、町関連行事などの自粛、感染症の予防と対策に関する情報提供といった対応方針を打ち出しました。

また、国からの全国の小中高校の臨時休校要請を受け、町教育委員会では町立小中学校を3月3日から春休みまで休校とすることを決定。県立高校の左沢高校も2日から休校となり、3日の卒業式も規模を縮小しておこなわれました。

感染拡大の収束の時期について、現時点では見通しが立っていません。感染予防のための対策を各自で取っていただくとともに、国・県・町・町教育委員会など公的機関が提供する情報をこまめに確認し、出所の不明な情報を安易に信じることなく冷静に行動していただくようお願いいたします。

◎感染症対策に伴う施設などの利用制限

施設名	期間	備考
中央公民館 ふれあい会館 克雪管理センター 町立図書館 歴史民俗資料館 体育センター 西地区体育館 本郷西地区体育館 七軒東地区体育館	3月19日(木)まで	制限対象は高校生以下 (ただし、図書館での本の貸出・返却は可能)
テルメ柏陵健康温泉館(大広間・会議室) 柏陵荘(大広間) 柳川温泉(大広間)	3月15日(日)まで	

◎感染症対策に伴うその他の措置

内容	措置内容
申告相談	4月16日(木)まで申告相談期間を延長(役場庁舎にて実施、要予約)
ファミリーサポートセンター事業育児相談	電話での受付対応
育児相談	電話対応

※これらの措置は3月6日現在のものです。今後の状況の推移により変更される場合があります。



▲今年度最後の登校日となった3月2日、在校生に花のアーチで送られて校舎を後にする左沢小学校の卒業生



▲同じく3月2日、本郷東小学校では「門出式」がおこなわれ、卒業生一人ひとりに在校生がエールを送りました

◎感染症対策のため中止されたイベントなど

- ◆2月28日(金) ・健康講話&料理教室
- ◆3月1日(日) ・左沢景観探検隊パート2
- ◆3月3日(火) ・糖尿病予防教室
- ◆3月4日(水) ・1歳6カ月児健診
・元気はつらつ・シルバー講座
- ◆3月6日(金) ・お達者教室
- ◆3月8日(日) ・青芋遺伝子分析調査報告会
・地域おこし協力隊・集落支援員活動報告会
- ◆3月11日(水) ・育児相談・健康相談
・みんなの茶の間
- ◆3月11日(水) ・大江のひなまつり関連行事
～29日(日) ※詳細は15ページに掲載
- ◆3月12日(木) ・いきいき貯筋教室
- ◆3月13日(金) ・「ねことじいちゃん」上映会
・生きがい教室
- ◆その他(3月末まで複数回開催予定だったもの)
・健康維持教室
・認知症予防教室
・少年少女書道教室

※子育て支援センター「ぱれっと」は3月31日(火)まで休館し、行事もすべて中止となります。

2019年度山形県明るい選挙啓発ポスターコンクール

個人の部・特選

今野由愛さん

(左沢小学校2年・月が丘)

戸田豊美さん

(左沢高校3年)

団体の部・優秀校

左沢小学校

左沢高校

〔特選受賞作品〕



左沢小学校2年 今野由愛さん



左沢高校3年 戸田豊美さん

今年度の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」がおこなわれ、町内の小中学校・高校の児童生徒たちから多数の作品が寄せられました。

町選挙管理委員会の第1次審査を経て、210点の応募作品の中から49点の作品が県選挙管理委員会による第2次審査へと進み、審査の結果、個人の部で小学生1名、高校生1名の作品が見事特選に輝いたほか、団体の部では左沢小学校と左沢高校が優秀校に選ばれました。

町内の小学生から亘理町へ

太平洋沿岸部を中心に大きな被害が発生し、数多くの方々が犠牲となった、平成23年3月11日の東日本大震災。あの日から9年経った今も、被災地と被災者の皆さんの心には、深い傷跡が残ったままです。

平成21年以来本町と交流があり、地震と津波で大きな被害を受けた宮城県亘理町の皆さんを応援するため、今年も町内の小学生が支援活動をおこないました。

左沢小学校5年生は、11月2日に文化祭来場者から義援金を募り、お礼の品として米作り体験で収穫した米をプレゼント。その際に集まった約6万7千円を寄付していただきました。

本郷東小学校の3年生からは、リンゴ栽培体験で収穫したリンゴを販売した際の売上金約1万8千円を寄せていただきました。

町でお預かりした子どもたちからの義援金は、2月28日に亘理町に届けられました。



▲2月27日、左沢小学校5年生より



▲2月26日、本郷東小学校3年生より



サン サン スマイル Sun!Sun!Smile!



2月7日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介します！（順不同）



Castillo Mizukiちゃん
(山崎)



齋藤 龍志くん
(藤田)



松田 芳胤くん
(諏訪原)



石山 薫くん
(若原)



柏倉 隼人くん
(富沢)



伊藤 幸成くん
(小見)



鈴木 綾乃ちゃん
(小漆川)



古沢 昊雅くん
(藤田)



阿部 凜子ちゃん
(月布)



庄司 麻那ちゃん
(貫見)



武田 綾愛ちゃん
(みなみ)



レイニング 頼路くん
(小見)



鈴木 蒼空くん
(小漆川)



清野 桃果ちゃん
(堂屋敷)



公平 碧羽くん
(小見)



内田 瑛星ちゃん
(深沢)



公平 愛叶ちゃん
(小漆川)



佐々木 はなちゃん
(柳川平)



金子 歩果ちゃん
(3区)



海野 千怜ちゃん
(深沢)



2/13 足踏み運動でおいしい味噌に^{みそ}

「女子力アップ講座」の第5回学習講座が、2月13日に中央公民館でおこなわれました。今回は新関さとみさん（山形市）を講師に迎え、家庭での味噌の仕込み方を学びました。

おいしい味噌作りのための大事な工程が、大豆の粒をまんべんなくつぶす作業。大豆とこうじなどを混ぜた袋を両足で踏み続けるのはかなりの重労働で、参加者は「暑い、暑い」と言いながら一生懸命足踏みを続け、会場の町民ホールは熱気とこうじの香りであっという間に盛り上がりました。今回仕込んだ味噌は、9月ごろに仕上がる見込みです。



2/15 ひと味違うこのおいしさ！

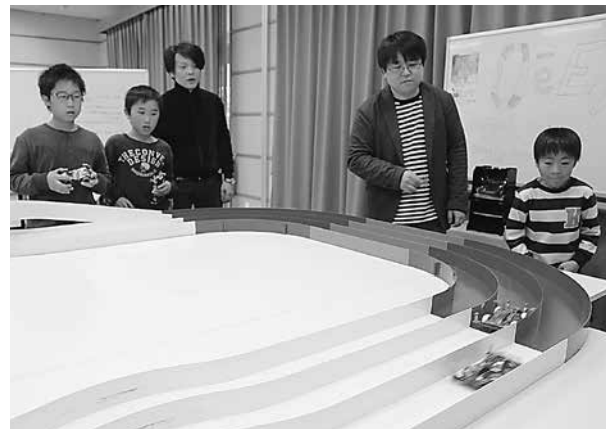
おおえ国際交流協会主催の「世界の料理教室・フィリピン料理編」が、2月15日に中央公民館で開催されました。講師は、一昨年まで地域おこし協力隊として活動した管理栄養士の野木桃子さん（中沢口）。フィリピンの食文化や料理、現地を旅行した際の逸話などを紹介しました。

調理実習では、フィリピンで親しまれている4品を調理。軽快な食感で風味豊かな春巻き「ルンピア」や、コンデンスミルクをふんだんに使ったデザート「ブコサラダ」が好評で、参加者は身近な料理とはまた違った味わいを楽しんでいました。

2/14 ~18 町を巡って新たな魅力発見

町誕生60周年博覧会「Oe EXPO」が、2月14日から18日にかけて開かれました。このイベントは、節目の年を機に町の魅力に改めて触れてもらおうと、Oe EXPO実行委員会（代表：大沼兄昌さん・13区）が企画したものです。

期間中は、町内17カ所の公共施設や商店などで町の産物や町民・町出身者の作品などを展示。ミニ四駆レースや「大江錦」の利き酒、怪談作家・黒木あるじさんを迎えての怪談会など多彩なイベントも催され、多くの来場者でにぎわいました。



▲子どもはもちろん「元・子ども」も白熱したミニ四駆レース



▲巨海院で開かれた黒木あるじさんによる怪談会



▲ATERA 2階では60周年記念展示がおこなわれました



2/15 身近な素材で華麗に変身!

東北芸術工科大学の学生有志による企画「おおえFamilywa」が、2月15日に山里交流館やまさあーべで開かれました。今回で8回目となるこの企画は、町内の小学生を対象に「ものづくり」の楽しさを体感してもらおうと実施されているもので、この日は15人の児童が参加しました。

今回は、人の体内に住む架空の生物との交流という設定のもと、段ボールやビニールなどを素材にして衣装などを制作。子どもたちはそれぞれ自由な発想で作ったカラフルな衣装を身に付け、笑顔で会場内を練り歩き作品発表をおこないました。



2/16 自身の歩みに新たな発見

まちなか交流館指定管理者Portと東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科大江スタジオによる企画「あてラボ」が、2月16日に「縁屋」でおこなわれました。この企画は、小中高生を対象に、本町を舞台にしてやりたいことを形にした「マイプロジェクト」を制作するものです。

第1回目となったこの日は、参加者がこれまでの自分の人生をグラフにした「自分グラフ」を制作し、グループごとに発表。マイプロジェクトの作成に向け、他者の視点も交えて自分自身の歩みを振り返りました。



2/18~20 台湾の皆さん歓迎光臨!(ようこそ)

山形大学と台湾師範大学の交流事業が2月18日から20日にかけて本町でおこなわれ、これに合わせて町のインバウンド推進に向けたモニターツアーが催されました。このツアーは、台湾から訪れた学生の皆さんに町の観光名所や郷土料理などの魅力に触れてもらおうと組まれたものです。

ツアー3日目の20日は、文化的景観の街並や町が誇る工芸品の工房などを見学し、お昼は青芋御膳を堪能。台湾の学生からは「町の雰囲気好きなので、また来たいです」といった感想が寄せられました。



2/21 斬新な発想でにぎやかに

町老人クラブ連合会主催の大江町老人芸能大会が、2月21日に中央公民館で開催されました。この大会は、町内の老人クラブなどに所属する皆さんが、日頃愛好してきた芸能を演じ、地域を越えて交流を深めるために毎年開かれています。

今年は合計20組が出演し、歌謡曲や舞踊などを披露しました。その中で貫見福寿会の皆さんは、鍋やおたまなど身近なものを楽器に見立てて「チャンチキおけさ」を演奏。「例年と違うことをやってみよう」との思いから知恵を出し合ったというメンバーに、一際大きな拍手が送られました。

皆さんの声にお答えします

Q 左沢の町の中を通ると思うのですが、中央通り商店街の道路は車道が狭く、車同士がすれ違ふことができない状況を目にします。私も車でこの道路を通っているのですが、つくづく不便だと思っています。この道路の車道の拡張をしていただきたいと思います。

A ご指摘の道路は国土交通省の「くらしのみちゾーン」に登録され、平成22年に完成しました。少子高齢化が進む中で中心商店街の活性化を図るために、地区住民の方々が一体となって「くらしのみちづくり協議会」を発足させ、車両よりも歩行者、自転車の通行を優先させることをコンセプトに、社会実験などしながら協議をおこない整備したものです。現在の道路になるまでにはそうした経緯がありますので、ご理解をお願いします。

(担当・建設水道課)

※本コーナーでは「広聴ハガキ」にて頂いたご意見・ご質問の中から抜粋し、町としての回答を掲載します。本コーナーで掲載したご意見については、紙面での回答をもって直接のご回答に代えさせていただきますので、ご了承ください。

地域おこし協力隊通信

No.61



山形の冬といえば「雪」。しかし今年は記録的な少雪。こんなに雪が少ないのは経験したことがないと言っている方が多くあります。私にとっては、慣れていない除雪や雪おろしもなくていいので楽と感じますが、やまざあべのような雪を観光資源にしている施設にとっては大打撃。予定していたイグルー作り、雪上デイキャンプ、かんじきトレッキングといったプログラムを、雪が無くてもできる凍み餅作りや薪ストーブピザ作り、啓翁桜の農作業体験などといったプランに変更し対応しています。これだけ雪が少ないと農作物や自然・生態系にも大きな影響があるかもしれません。雪は降ると大変ですが、結局は普段通りの暮らしが一番幸せなんです。

地域おこし協力隊 村中 亮竜



▲自然体験プログラムの一つ「凍み餅」作りを体験した福島県の子どもたち

● 短歌 ●

寒々と布団を重ね寝入りけり父母浮かぶ恵方巻かな

宇津江雅人

黒堀を越へて古松の裏通り栄華を語る茂吉歌碑あり

柳川 次郎

挽臼で蕎麦の実挽きてそばがきを食わしてくれた在りし日の祖母

佐竹磨砂湖

冬景色小鳥や猫の訪れを花や紅葉のように眺める

山家 重之

顔馴染になりしデマンドドライバーの話上手に支払い忘れ

菊地つねよ

誘ひ合ひごぼう先生の軽体操アコーデオン奏でみんなの茶の間

佐竹 與鼓

老いらくの短き命いかにせむハズキルーペをかけて書を読む

斎藤 徳治

● 俳句 ●

紅梅の花ふくらみて香りみつ

鴨田富士夫

老将は静かに去りてなごり雪

柳川 次郎

雪国の雪なきみ空泣きみたり

斎藤 徳治

恋の猫寂しき町をふるやかに

山家 重之

踊り場の闇しんと雪の宿

安藤 桂花

春浅し厨に光る打刃物

熊谷 勉

眼力や不動明王春を待つ

舟山 三男

着ぶくれて憂国の士となる男

伊藤 啓泉

※4月号の吟遊浪漫コーナーはお休みさせていただきます。5月号に掲載ご希望の方は、4月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん



Youthful
★ ★ トーク ★ ★

寒河江市の製造会社に勤務して丸3年となった大泉さん。食品トレー製造のオペレーターを担当しており、スーパーなどで自分の作った製品を目にすることもよくあるそうです。

「見掛けるたびに『これ作るの大変だったなあ』とか、思い出してしまいます」

趣味は、高校生の時に始めたスノーボード。多いときは1シーズンに10回近く行くそうですが、この冬は例年になく暖冬ということもあって「あまり行けませんでした」と残念顔。その代わり、今年の夏は友達と一緒にキャンプに行くことを楽しみにしているそうです。

「今まで夏の趣味がなかったので、キャンプを始めたいと思い、去年テントを買ったんです。でも結局行けなくて……今年は必ず行きたいですね」

アウトドアのレジャーが大好きな大泉さんですが、道具をそろえるのにお金が掛かるのが悩みの種。

「そのためにも、仕事をがんばらなくちゃいけないですね」と笑っていました。

大泉 泰輝さん (21歳・13区)

夏も冬もアウトドアを満喫!

シリーズ企画

月刊 **仲間とエンジョイ!** No.34

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

あそびま書 in おおえ教室

代表：鈴木裕美子さん（楡山）

「書いて楽しい、見て楽しい」書を目指す「あそびま書 in おおえ教室」は、平成18年6月に初代表の村上弘子さん（藤田）を中心にメンバーが集まって開講されました。講師の鈴木蘭華先生は上山市を中心に県内外で多くの教室を開催しており、一人ひとりの特徴や上達具合に応じて手本を書き、長所を伸ばす指導をされています。毎年10月には山形市で書道教室合同展が開かれ、メンバーの作品が展示されます。

「毎月第2・第4土曜日に中央公民館に集まり、楽しく会話をしながら書に親しんでいます。他の方の作品を見ることも、とても刺激になりますね」と話す、代表の鈴木さん。一緒に作品作りを楽しむメンバーを、随時募集しています。



▲「あそびま書 in おおえ教室」の皆さん



▲楽しみながらも真剣に、さらに上のレベルを目指して練習に励んでいます

お知らせ

Information

令和2年度人口動態調査 (職業・産業)が実施されます

出生や死亡、死産があった場合や、婚姻、離婚の届出の際に職業・産業の記入をお願いします。届出をする市区町村役場の窓口に「職業・産業例示表」を備え付けていますので、記入の際の参考にしてください。不明な点は窓口でお尋ねください。

調査結果は、公衆衛生、労働衛生、社会福祉など各施策のための重要な基礎資料として活用されています。ご協力をよろしく願います。

☎ 税務町民課戸籍年金係

☎(62)2113

町営住宅(大花住宅)の 入居者を募集します

◆募集戸数/大花住宅(長屋平屋建て) 2LDK 面積64平方メートル)1戸

◆所在地/大字藤田425番地

◆応募の条件/①世帯の月額所得が15万8千円を超えないこと、②現に同居し、また同居しようとする家族

がいること、③月額家賃20300円(30300円(所得によって変動します)、④敷金:家賃の3カ月分、⑤暴力団関係者は入居をお断りします、⑥町内の方を連帯保証人に行ける方

◆募集期間/3月12日(木)~23日(月)

☎ 建設水道課管理係 ☎(62)2116

山形県立農林大学校 「新規就農研修生」募集!

これから農業を始めようとする方を対象にした研修生を募集します。

◆研修名/新規就農支援研修

◆研修期間/1年間(令和2年4月~令和3年3月)

◆募集人員/新規就農希望者50人

◆研修先/農業関係試験研究機関、先進農業経営者、農林大学校など

◆受講料/無料(ただしテキスト、傷害保険、宿泊などの必要経費は自己負担)

☎ 山形県立農林大学校研修部

☎0233(22)8794

「し尿収集手数料」を改定します

令和2年4月1日から「し尿収集手数料」を改定します。ご理解とご協力をお願いします。

後期高齢者医療保険料の 保険料率が変わります



後期高齢者医療制度の保険料率は、医療費などの推計を基に、2年ごとに見直しをおこなっています。令和2・3年度の保険料率は、次のとおり改定されます。

◆保険料率

(平成30・31(令和元)年度→令和2・3年度)

▽所得割率 8.01%→8.68%

(所得に応じて負担していただく分を算定する際の率)

▽均等割額 4万1100円→4万3100円

(加入者が公平に負担していただく分)

▽賦課限度額 62万円→64万円

(年間保険料の最高額)

また、国の制度見直しにより、保険料の軽減特例が次のとおり変わります。

◆保険料軽減特例(令和元年度→令和2年度)

▽均等割保険料の軽減割合

◎8割軽減→7割軽減

◎8.5割軽減→7.75割軽減

▽均等割保険料の軽減対象の拡充

(低所得者の負担軽減)

保険料率の詳細は、7月に保険料額決定通知書とともに送付されるリーフレットに記載されます。

☎ 税務町民課町民税係 ☎(62)2119



河北病院内ボランティア募集

令和2年4月ごろから年間を通じて活動していただける方を募集します。活動は全て無償でお願いします。

◆申込期間/3月19日(木)まで

※面接で採否を決定します。採用後、オリエンテーションがあります。

【外来ボランティア】

◆活動内容/診療申込書の代筆援助、

◆改定内容/①10リットルごとに:現行130円から136円に改定、②1回の収集量が200リットル以下の場合:現行2600円から2720円に改定、③仮設トイレ加算:現行2000円から2100円に改定 ※消費税を含みます。

※ごみ処理手数料については、変更はありません。

☎ 寒河江地区クリーンセンター

☎(84)4225

MADE メイドイン IN おおえ

匠の技から最先端技術まで——ふるさとのモノづくりを担う町内企業と、そこで働く若い力をご紹介します。



▲主な製品（上：伸縮包帯、下：医療用紙エプロン）

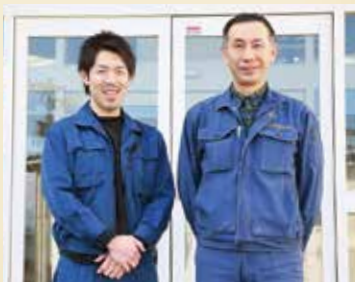
VOL.2 竹下製薬株式会社 山形工場

- ◆住所 大江町大字藤田799-4
- ◆代表者名 代表取締役社長 飯島幹夫
- ◆沿革 昭和50年 新潟県魚沼市（現）にて設立
平成4年 株式会社竹虎山形工場を藤田工業団地に設立
平成14年 同工場を竹下製薬株式会社へ移管
- ◆従業員数 15人
- ◆主な業務 医療用消耗材料（使い捨て紙エプロン、包帯など）の製造販売、福祉用具（介護ウェア、食事用エプロンなど）の製造販売、医療福祉用品の開発

平成4年に藤田工業団地に移転した竹下製薬株式会社山形工場では、医療用の使い捨て紙エプロンや包帯、介護用品などを製造しています。また、手術衣といった医療用品の縫製も手掛けています。「近年は安い海外製品が増えていますが、品質にはばらつきがありますが、その点、ここで作る製品は品質面で高い信頼を頂いていると思います」と話す、工場長の穴沢勝也さん。製作を担当するのは主に女性従業員の皆さんで、縫製では特注にも柔軟に対応。製造機械のメンテナンスを担当する軽部信太郎さんは「皆さん良い人たちで、働きやすい職場です。機械に故障があったときは、少しでも早く直せるようにがんばっています」と話していました。



▲医療用紙エプロンの製造作業



▲工場長の穴沢勝也さん(右)と、入社11年目の軽部信太郎さん(左)

戸籍のまど

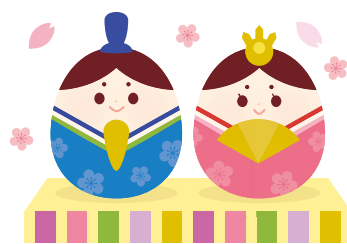
1月21日～2月20日大江町受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
蛸水	向 祐榮	男	麻菜美
6区	石塚 椿	女	渉・綾乃

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
小漆川	公平 榮子	(87)
山崎	鈴木 武弘	(85)
上北山	佐藤 征紀	(75)
9区	公平 志づ	(94)
9区	塚野 まつの	(96)
市の沢	室岡 喜造	(86)
三合田	柏倉 運	(88)
下モ原	今野 重	(87)
9区	渋谷 智子	(97)
9区	鈴木みね子	(91)



人口と世帯(前月比)

町の人口	7,969人(-22)
男	3,971人(-12)
女	3,998人(-10)
世帯数	2,875戸(-13)

令和2年3月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。